

2023年11月14日

産婦人科部に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2006年5月から2018年12月までの間に心疾患（先天性、後天性、不整脈を含む）合併妊娠で当センターにおいて周産期管理を受けた方

【研究課題名】心疾患合併妊娠における児の合併症に関する後方視的研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 産婦人科部 部長 吉松 淳

【研究の目的】心疾患合併妊娠に対して、母体要因と、児の合併症（流産、死産、低出生体重児、周産期死亡）や児の転帰、子宮胎盤循環や胎盤機能を後方視的にて既存情報を用いて検討する。

【利用する診療情報】

原疾患、手術年齢・手術方法（姑息術、心内修復術、再手術）、循環器内服薬の有無、遺残病変や続発症、妊娠前 NYHA functional class、喫煙・飲酒歴、身長、体重、妊娠前 BMI、分娩年齢、妊娠・分娩回数、周産期における循環器検査所見（標準 12 誘導心電図、ホルター心電図、心臓超音波所見、心臓 MRI 検査所見、血液検査結果（血算：白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、血液生化学検査：AST、ALT、LDH、総ビリルビン、直接ビリルビン、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、血清ナトリウム、血清カリウム、血清クロール、CK、ANP、BNP、血液凝固線溶系検査：PT、aPTT、fibrinogen、D-dimer）、産科転帰（妊娠中の体重増加、産科合併症、妊娠前・周産期における心血管合併症（不整脈、心不全、血栓性合併症）、分娩週数、分娩方法、児の出生体重・身長、児の合併症、先天性心疾患の有無）、胎盤機能の評価項目（子宮動脈、臍帯動脈の Resistance index, Pulsatile index、また子宮動脈の notch の有無）、胎盤重量

【研究期間】研究許可日より2024年12月31日まで（予定）

【個人情報取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 産婦人科部 担当医師 吉松 淳  
電話 06-6170-1070(代表)